

ファイルを様々なタイミングで全自動バックアップ

LB ファイルバックアップ4^{Pro}

SP1

利用ガイド



LIFEBOAT
a megasoft company

Microsoft は Microsoft Corporation の登録商標、Windows は同社の商標です。

その他の商標は、それぞれ該当する会社が所有する商標です。

注意:

本冊子に記載されている情報は、予告無しに変更されることがあります。株式会社ライフボートは、本ガイドあるいはプログラムに記載されている内容に対していかなる誤りが含まれる場合にも、一切の保証を行いません。

EDITION

September 2018

Copyright© 2018 by Lifeboat, inc.

All rights reserved.

Printed in Japan

PUBLISHED BY

株式会社ライフボート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

ホームページ: <http://www.lifeboat.jp/>

目次

第1章 はじめに.....	5
1-1 動作環境.....	5
1-2 注意事項.....	6
第2章 インストールと初期設定.....	7
2-1 インストール.....	7
2-2 初回設定ウィザードを実行する.....	11
第3章 操作画面について.....	18
3-1 タスクトレイアイコンとメニュー.....	18
3-2 ホーム画面.....	19
第4章 バックアップ設定の変更、追加、削除.....	20
4-1 バックアップ対象の追加と設定変更.....	20
4-2 バックアップ先の追加.....	28
4-3 バックアップ先の削除.....	32
4-4 メールやインターネットのバックアップ.....	34
第5章 バックアップデータのリストアと削除.....	36
5-1 バックアップデータのリストア.....	36
5-2 バックアップデータの削除.....	40
5-3 別の PC でリストアする.....	41
5-4 バックアップ先の構成について.....	43

第6章 オプションとログ	45
6-1 共通設定.....	45
6-2 パフォーマンス設定	47
6-3 レポートメール.....	49
6-4 ステータス&ログ	50
6-5 サポート画面	52
第7章 その他.....	53
7-1 アップデート(上書きインストール)を行った場合	53
7-2 ネットワークドライブの割り当てについて	54
7-3 試用版から製品化する.....	56
7-4 アンインストール手順.....	58

第1章 はじめに

このたびは「LB ファイルバックアップ 4 Pro SP1」をお買い上げいただきありがとうございます。LB ファイルバックアップ 4 Pro は、簡単な操作で PC 内のデータを、外付け HDD や USB メモリなどにバックアップできるソフトで、世代管理、バックアップデータの圧縮・暗号化、除外ファイルの設定などの機能を備えています。同じファイルを複数のバックアップ先に保存することもできるため、重要なデータを 2 重化してバックアップできます。動作も軽く、PC への負荷もほとんどかかりません。また、バックアップの際、バックアップ先にリストア実行用のファイルが作成されるため、LB ファイルバックアップ 4 Pro がインストールされていない PC からでもバックアップデータをリストアできます。

※ 本製品は「LB オートセーブ 2」や「LB ファイルバックアップ 3」との互換性はありません。いずれかの製品がインストールされている場合は事前にアンインストールしてください。

1-1 動作環境

対応 OS:	Windows 7/8.1/10 ※32 ビット/64 ビット、日本語版のみサポート ※管理者権限が必要です。
対応機種:	上記 OS が正常に動作する PC/AT 互換機
CPU:	Intel、AMD または互換プロセッサ
メモリ:	1GB 以上
ディスク容量:	200MB 以上の空き容量
その他:	.NET Framework がインストールされていること

1-2 注意事項

- バックアップ対象は、ローカルドライブのみです。ネットワークドライブ内のデータをバックアップすることはできません。
- CD/DVD/BDなどの光学メディアへのバックアップには非対応です。
- 他社バックアップツールとの併用はできません。
- 本製品はファイルのバックアップツールです。OSやアプリケーションのバックアップには非対応です。
- 製品の性質上、暗号パスワードを紛失した場合のサポートはいたしかねますので、パスワードの管理には充分ご注意ください。
- ライセンスキーを入力せずに本製品をインストールした場合、14日間限定の試用版になります。本製品を無期限でご利用いただくためには、ライセンスキーが必要です。
- Windows系のサーバOSには対応していません。別途サーバ版をご購入ください。
- メールのバックアップでは、メール本文とアドレス帳がバックアップ対象となります。
- 「LB ファイルバックアップ3」や「LB オートセーブ2」とは別製品です。画面の表示やバックアップ形式、操作方法などは全く異なり、バックアップデータの互換性も無いのでご注意ください。
- インストール時に.NET Framework のインストールが必要になることがあります。
- Windowsのマルチユーザー環境には非対応です。

第2章 インストールと初期設定

この章では、LB ファイルバックアップ 4 Pro のインストールと、初期設定の手順をご案内いたします。

LB ファイルバックアップ4 Proをご利用されている場合は、LB ファイルバックアップ4 Pro SP1を上書きインストールすることが可能です。設定は引き継がれます。
LB ファイルバックアップ3 とは互換性がありませんのでアンインストールしてからLB ファイルバックアップ4 Pro SP1をインストールしてください。
アンインストールの際には、これまでのバックアップデータを削除しないようご注意ください。

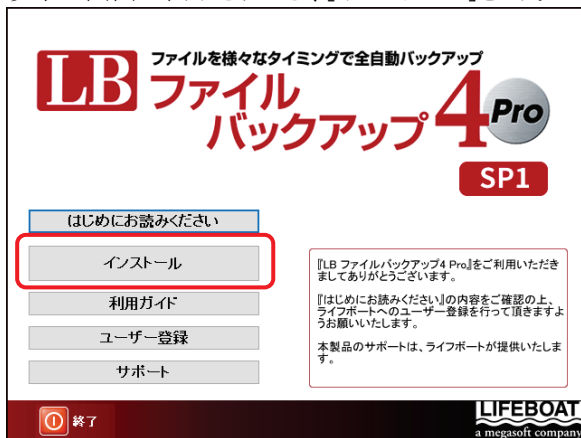
2-1 インストール

- (1) 製品 CD をコンピュータに挿入すると自動再生が起動して以下の画面が表示されます。表示されない場合は、CD 内にある「スタート.exe」を実行してください。

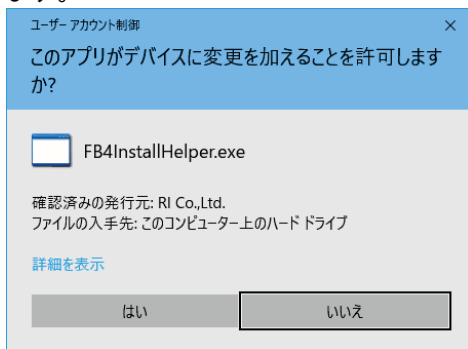


第2章 インストールと初期設定

(2) 以下の画面が表示されたら、[インストール]をクリックします。



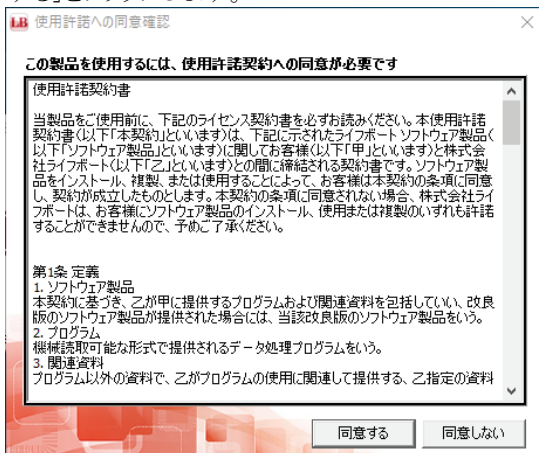
※ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は[はい]をクリックします。



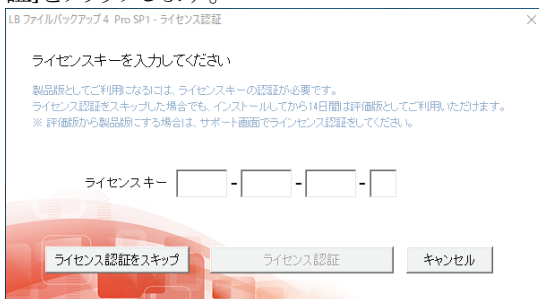
(3) [インストール]をクリックします。



- (4) 「使用許諾への同意確認」が表示されます。内容を確認の上、[同意する]をクリックします。



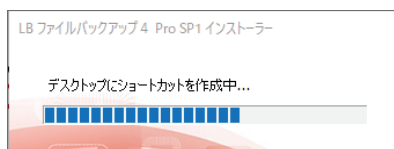
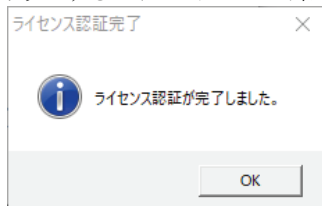
- (5) ライセンス認証を行います。ライセンスキーを入力し、[ライセンス認証]をクリックします。



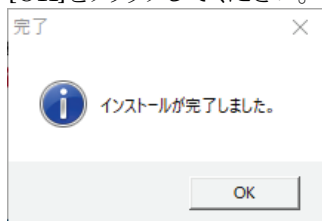
- ※ ライセンス認証は後から行うことも可能です。ここで認証を行わない場合は、14日間の試用版として動作します。試用版から製品化する手順は『7-3』をご参照ください。

第2章 インストールと初期設定

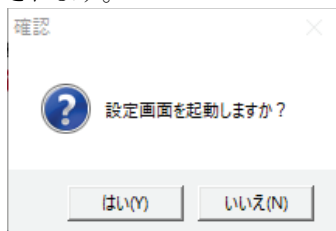
- (6) ライセンス認証に成功すると、以下の画面が表示されます。[OK]をクリックするとインストールが始まります。



- (7) [OK]をクリックしてください。



- (8) 設定画面を起動するかどうかの、確認メッセージが表示されます。続けて初期設定を行う場合は[はい]を、このまま終了する場合は[いいえ]をクリックします。終了した場合、デスクトップ上の[LB ファイルバックアップ 4 Pro]のアイコンをクリックすると、初期設定の画面が表示されます。



旧バージョンからアップデートインストール(上書きインストール)を行った場合は、設定が引き継がれますので、初期設定ウィザードは表示されません。このあと『7-1』の手順を行ってください。

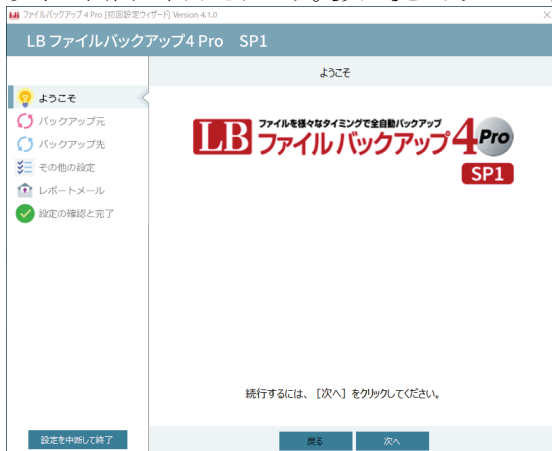
- ※ 何も画面が表示されない場合は、タスクトレイ上にウィンドウが点滅表示されていないか確認し、点滅している場合はクリックしてください。



以上でインストールは完了です。続けて次節の手順で初期設定を行ってください。

2-2 初回設定ウィザードを実行する

- (1) インストール後、初めて LB ファイルバックアップ 4 Pro を起動すると、以下の画面が表示されます。[次へ]をクリックします。



第2章 インストールと初期設定

- (2) バックアップ元(バックアップ対象)を指定します。バックアップしたいフォルダにチェックを入れて[次へ]をクリックしてください。



- ※ [フォルダから選択]タブをクリックすると、任意のフォルダを指定できます。



- ※ バックアップ対象はあとから追加/変更が可能です。変更の手順は『4-1』をご参照ください。
- ※ 初回設定ウィザードで選択したバックアップ対象は、メール/インターネットはインターバルバックアップ、それ以外のデータはリアルタイムバックアップで設定されます。

- (3) バックアップの保存先を指定します。フォルダを指定する場合は[参照]ボタンをクリックしてください。



- ※ バックアップ先は後で変更することができません。変更するには、設定を新たに追加する必要があります。手順は『4-2』をご参照ください。
- ※ 指定した保存先に、自動的に「LB」フォルダが作成され、その中に保存されます。バックアップ先のフォルダ構成については、『5-4』を参照してください。
- ※ バックアップ先として使用できるのは、内蔵HDD、外付けHDD、ネットワークドライブ、USBメモリなどのリムーバブルメディアです。CD/DVD/BDなどの、光学メディアへのバックアップには非対応です。
- ※ 「保存先パスの文字数」+「ファイル名の文字数」が、OSの制限を超えた場合（一般的には256文字）は、バックアップできなくなります。保存先パスの文字数が短くなるよう、ドライブの直下やドライブ直下にあるフォルダをバックアップ先に指定することをお勧めします。
- ※ 既にバックアップデータが存在する場所をバックアップ先に指定した場合、バックアップデータが削除されますのでご注意ください。

第2章 インストールと初期設定

※ NAS やネットワークドライブにバックアップを行う場合、事前にドライブ文字を割り当てる必要があります。手順は『7-2』を参照してください。ドライブ文字を割り当てると、以下のようにバックアップ先として選択できます。



(4) 「その他の設定」は必要に応じ、行ってください。



【圧縮/暗号設定】 ※あとから変更不可

圧縮・暗号化を設定した場合、そのバックアップ先に保存されるバックアップデータすべてが圧縮・暗号化されます。例えば、「マイドキュメント」と「デスクトップ」を同じバックアップ先にバックアップする場合、「マイドキュメント」のデータだけ圧縮/暗号化して、「デスクトップ」のデータは圧縮/暗号化しない、というような設定は行えません。

暗号化する場合は、パスワードを設定してください。

暗号パスワードを忘れると復元ができません。製品の性質上、パスワードを紛失した場合の対処方法についてのサポートは提供しておりませんで、パスワードは慎重に管理していただくようお願い致します。

あとから変更した場合、既存のバックアップデータが削除されます。新たな設定となり、バックアップしなおしになります。

【世代保存の設定】

バックアップデータの世代保存の設定を行ってください。あとから変更する場合は『4-1』をご参照ください。

【モードの設定】

バックアップ元データが削除された際の動作を設定します。詳しくは『4-1』(3)**【削除方式の変更】**をご参照ください。

バックアップモード	バックアップ元データが削除されても、バックアップ先からは削除しません。
レプリケーションモード	バックアップ元データが削除された場合、バックアップ先からも削除します。

【レプリケーションモード時世代保存】

詳しくは『4-1』(3) **【削除方式の変更】**をご参照ください。

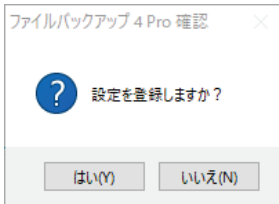
第2章 インストールと初期設定

- (5) レポート送信機能を使用する場合は、メール送信に必要な情報を入力し、[テスト送信]を行ってください。機能を使用しない場合は入力せずに[次へ]をクリックします。

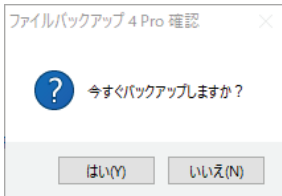
※ レポートメールの詳細は『6-3』を参照してください。

- (6) 設定内容の確認画面が表示されます。内容に問題がなければ、[保存]をクリックします。

- (7) 確認のメッセージが表示されたら[はい]をクリックします。



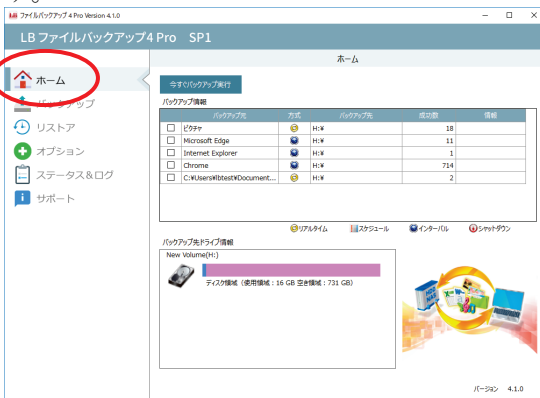
- (8) 続けて、今すぐバックアップする場合は[はい]をクリックしてください。



[いいえ]をクリックした場合も、ウィザード完了後 5 分後に初回バックアップが実行されます。(インターバルバックアップの場合は 3 時間後)


- ※ Edge をバックアップ対象に指定した場合は、Edge が起動する場合があります。何もせず閉じてください。




- (9) バックアップの結果は、LB ファイルバックアップ 4 Pro の「ホーム」画面に表示されます。画面については、次章で詳細をご案内いたします。








第3章 操作画面について

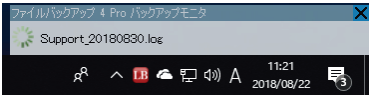
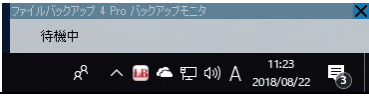
3-1 タスクトレイアイコンとメニュー

初回バックアップウィザード完了後、タスクトレイ上に LB ファイルバックアップ 4 Pro のアイコン  が表示されます。

	待機中/リストア中の表示です。(白アイコンに赤字)
	バックアップ中はこのアイコンが表示されます。(赤アイコンに白字)
	バックアップ先がすべて、接続不可の場合に表示されます。(グレーのアイコン)

アイコンを右クリックするとメニューが表示されます。

	メインメニューを開く(O)
	今すぐバックアップ(B)
	ログ画面を開く(L)
	モニター表示(M)
	ファイルバックアップ 4 Pro の終了(X)

メインメニューを開く	LB ファイルバックアップ 4 Pro のホーム画面を起動します。
今すぐバックアップ	バックアップを実行します。
ログ画面を開く	操作ログを表示します。
モニター表示	タスクトレイに現在バックアップ中のファイル名が表示されます。  
ファイルバックアップ 4 Pro の終了	LB ファイルバックアップ 4 Pro を終了します。

3-2 ホーム画面

デスクトップ上の「LB ファイルバックアップ 4 Pro」アイコンをダブルクリックするか、またはタスクトレイのアイコンを右クリックし「メインメニューを開く」をクリックすると、LB ファイルバックアップ 4 Pro のホーム画面が起動します。

バックアップ対象、保存先、直近のバックアップ結果が表示されます。

LB ファイルバックアップ 4 Pro SP1

ホーム

最新のバックアップ実行

バックアップ情報

バックアップ元	方式	バックアップ先	成功数	情報
<input type="checkbox"/> ピクチャ	☺ G:¥	G:¥	157	
<input type="checkbox"/> Microsoft Edge	☺ G:¥	G:¥	10	
<input type="checkbox"/> Internet Explorer	☺ G:¥	G:¥	59	
<input type="checkbox"/> Chrome	☺ G:¥	G:¥	629	

バックアップ先ドライブ情報

ボリューム(G:)

ディスク領域 (使用領域: 180 MB 空き領域: 2,917 MB)

ボリューム(E:)

ディスク領域 (使用領域: 210 MB 空き領域: 859,471 MB)

バージョン 4.1.0

メニューからバックアップ、リストアの実行、オプションや各設定を行えます。

バックアップ保存先ドライブの空き容量を確認できます。

第4章 バックアップ設定の変更、追加、削除

この章では、バックアップ対象を追加する手順や、バックアップ設定の内容を変更する手順をご案内いたします。

4-1 バックアップ対象の追加と設定変更

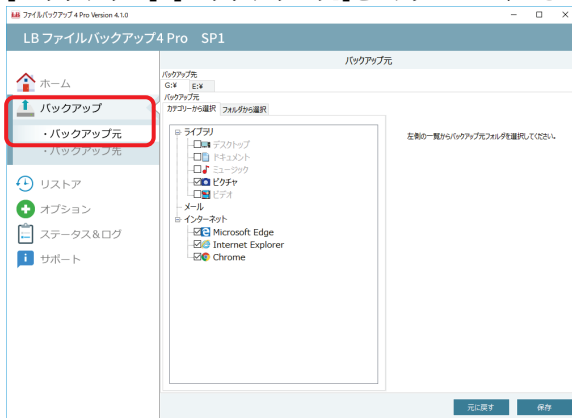
ここでは、バックアップ対象(バックアップ元)を追加したり、設定を変更する手順をご案内します。

バックアップ保存先を新たに追加したい場合は、『4-2』をご参照ください。

※ 既存のバックアップ設定を確認したい場合も、(1)~(3)の手順を行ってください。確認後、画面右上の「×」をクリックして終了してください。

(1) LB ファイルバックアップ 4 Pro を起動します。

(2) [バックアップ]-[バックアップ元]をクリックしてください。



- (3) 設定を変更したいフォルダをクリックすると、右側に設定項目が表示されます。設定は、各フォルダごとに指定することができます。

バックアップ先を複数登録している場合は、設定を変更したい保存先を選択してください。

バックアップ先

G:¥ E:¥

カテゴリに表示されないフォルダを選択したい場合は「フォルダから選択」に切り替えて、指定してください。

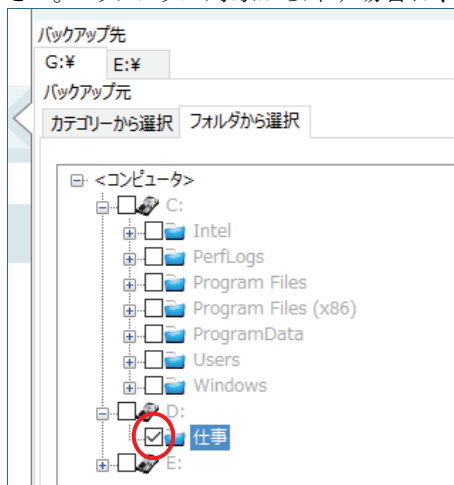
バックアップ元

カテゴリから選択 フォルダから選択

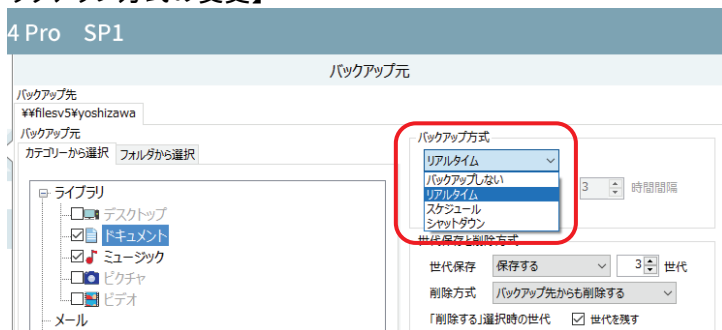


【バックアップ対象の追加/削除】

バックアップしたいフォルダのチェックボックスにチェックを入れてください。バックアップ対象から外す場合は、チェックを外します。



【バックアップ方式の変更】



バックアップ方式の詳細は以下の通りです。
バックアップ対象により、選択できるバックアップ方式が一部異なります。

リアルタイム(メール/インターネットは選択不可)

ファイルを変更・上書き保存した場合など、リアルタイムにファイルの変化を検知してバックアップを行います。設定後、5分経過すると初回バックアップが実行されます。

メール/インターネットは、リアルタイムバックアップを選択できません。

インターバル(メール、インターネットのみ選択可能)

指定した間隔ごとにバックアップを行います。間隔は1時間単位で指定できます。

メール/インターネット以外のデータは、インターバルバックアップは選択できません。

スケジュール

曜日と時間を指定してバックアップを行います。「スケジュール編集」をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。バックアップを実行したい曜日と時間を指定してください。

スケジュール設定

毎週実行する

実行する週を指定する

第1週 第2週 第3週 第4週 第5週

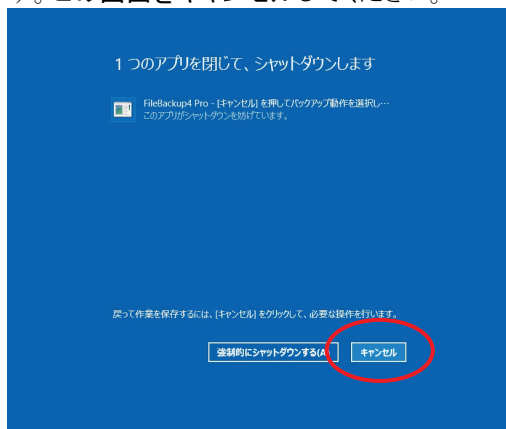
	日	月	火	水	木	金	土
00時	--	--	--	--	--	--	--
01時	--	--	--	--	--	--	--
02時	--	--	--	--	--	--	--
03時	--	--	--	--	--	--	--
04時	--	--	--	--	--	--	--
05時	--	--	--	--	--	--	--
06時	--	--	--	00	--	--	--
				05			
07時	--	--	--	10	--	--	--
				15			
08時	--	--	--	20	--	--	--
				25			
09時	--	--	--	30	--	--	--
				35			
10時	--	--	--	40	--	--	--
				45			
11時	--	--	--	50	--	--	--
				55			
12時	--	--	--	--	--	--	--
13時	--	--	--	--	--	--	--
14時	--	--	--	--	--	--	--
15時	--	--	--	--	--	--	--
16時	--	--	--	--	--	--	--
17時	--	--	--	--	--	--	--
18時	--	--	--	--	--	--	--

変更 キャンセル

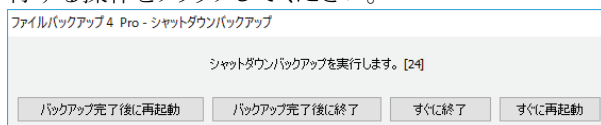
第4章 バックアップ設定の変更、追加、削除

シャットダウン

PC をシャットダウンする直前にバックアップを行います。PC のシャットダウンを実行すると、Windows 10/8 では以下の画面が表示されます。この画面をキャンセルしてください。

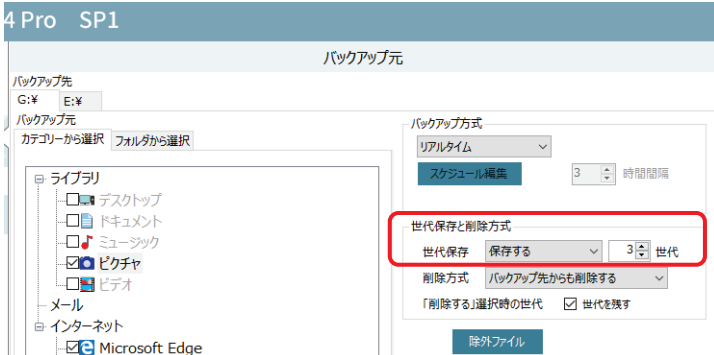


下記の「シャットダウンバックアップ」の画面が表示されますので、実行する操作をクリックしてください。



カウントダウンされており、何もクリックしないと 30 秒後にバックアップを実行しシャットダウンします。

【世代保存の変更】



「保存しない」を選択した場合、最新のデータのみがバックアップ先に格納されます。

「保存する」を選択して、世代数を 1 世代にした場合は、最新のデータとその 1 世代前、計 2 世代のデータがバックアップ先に格納されます。保存先の階層等、詳細は『5-4』を参照してください。

【削除方式の変更】



バックアップ元のデータを削除した際の動作を設定できます。

- ※ メールとインターネットのバックアップに関しては、このオプションは選択できず、「削除しない」設定になります。

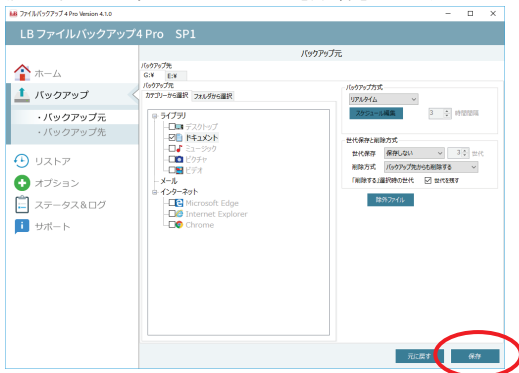
第4章 バックアップ設定の変更、追加、削除

バックアップ方式によって削除のタイミングが異なります。

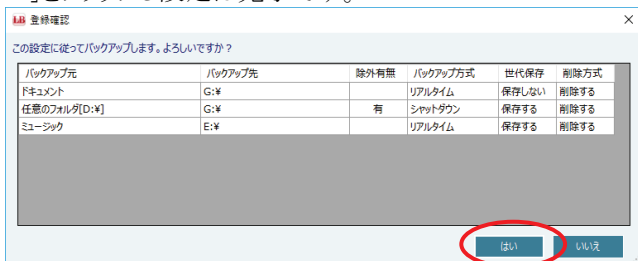
	リアルタイム	スケジュール シャットダウン
バックアップ先からは削除しない(バックアップモード)		
バックアップ先からは削除しない	バックアップ元のファイルを削除しても、バックアップ先からは削除されません。	
バックアップ先からも削除する(レプリケーションモード)		
バックアップ先からも削除する	バックアップ元のファイルを削除すると、リアルタイムでバックアップ先からも削除	次回にバックアップが行われるタイミングで削除
オートコンプリータで削除する	オートコンプリータが実行されるタイミングで削除	
<input checked="" type="checkbox"/> 世代を残す	「削除する」選択時の設定です。 チェックを入れた場合、元データを削除すると、削除する直前の状態が 1 世代前として保存され、それ以前の世代も更新され残ります。チェックを入れない場合は、一切のバックアップデータが残らず削除されます。	

- ※ オートコンプリータは、リアルタイムバックアップにおいてバックアップの取りこぼしをチェックする機能です。PC が起動している間定期的に動作します。詳細は『6-2』をご参照ください。

- (4) 設定変更が完了しましたら[保存]をクリックしてください。



- (5) 登録確認画面が表示されます。表示された内容でよろしければ、[はい]をクリックし設定は完了です。



- (6) 「×」ボタンで閉じてください。

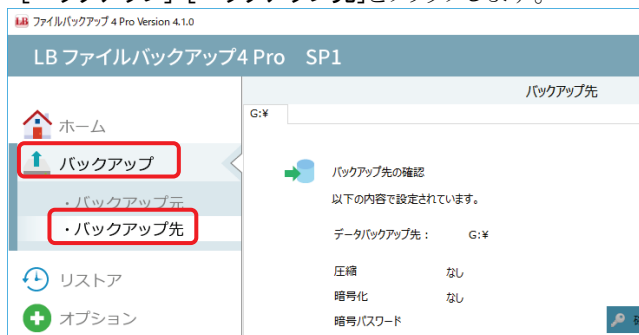


第4章 バックアップ設定の変更、追加、削除

4-2 バックアップ先の追加

バックアップ保存先を新しく追加する手順をご案内いたします。既存のバックアップ先に、バックアップ対象を追加したい場合は、『4-1』をご参照ください。

- (1) [バックアップ]-[バックアップ先]をクリックします。



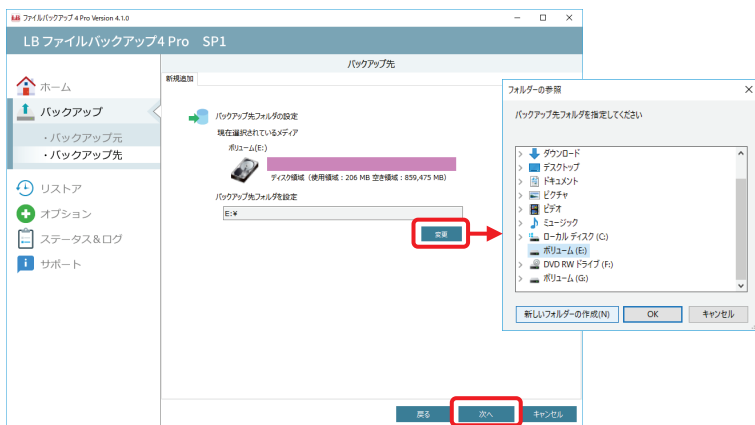
- (2) 設定済みのバックアップ先ドライブが表示されます。[追加]をクリックします。



- (3) 新たに設定したいバックアップ先を選択し[次へ]をクリックしてください。



- (4) フォルダを指定したい場合は、[変更]をクリックして指定してください。指定したら[次へ]をクリックします。



- ※ バックアップ先に設定した場所には、「LB」というフォルダが作成され、その中にバックアップデータが保存されます。バックアップ先のフォルダ構成については、『5-4』を参照してください。

第4章 バックアップ設定の変更、追加、削除

- (5) 必要に応じ、バックアップデータの圧縮・暗号化の設定を行い、[次へ]をクリックしてください。

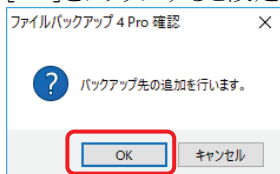


- ※ **暗号パスワードを忘れると復元ができません。製品の性質上、パスワードを紛失した場合の対処方法は提供しておりませんので、パスワードは慎重に管理していただくようお願い致します。**

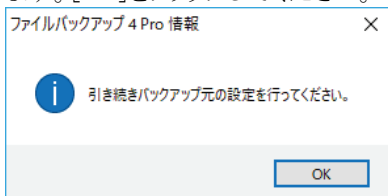
- (6) 設定内容の確認画面が表示されます。設定した内容に間違いがなければ[完了]をクリックします。



- (7) [OK]をクリックすると設定が追加されます。



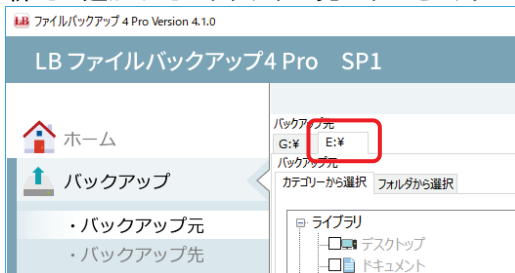
- (8) 続いて、新たな保存先にバックアップするバックアップ対象を指定します。[OK]をクリックしてください。



- (9) [バックアップ元]をクリックしてください。



- (10) 新たに追加したバックアップ先のタブをクリックしてください。



- (11) 『4-1』の手順と同様に、バックアップ対象、バックアップ方式等を選択し、[保存]してください。

第4章 バックアップ設定の変更、追加、削除

4-3 バックアップ先の削除

不要になったバックアップ先を削除したい場合、以下の手順で実行できます。

※ バックアップ先を削除する際、保存データも削除すると、リストアできなくなります。十分に注意して操作を行ってください。

※ 特定のバックアップ対象のバックアップを停止したい場合は、『4-1』を参照の上、バックアップ元のチェックを外してください。

- (1) [バックアップ]- [バックアップ先]をクリックします。



- (2) 現在のバックアップ先がタブで表示されます。削除したいバックアップ先のタブを選択し、[削除]をクリックします。

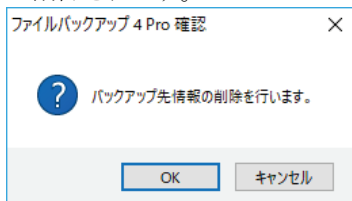


- (3) バックアップ先に保存されたデータも削除する場合は、[保存されたデータを破棄する]にチェックを入れて[削除]をクリックしてください。



※ 保存データを残した場合にリストアする際は、製品のリストア機能ではなく、『5-3』の手順で復元する必要があります。

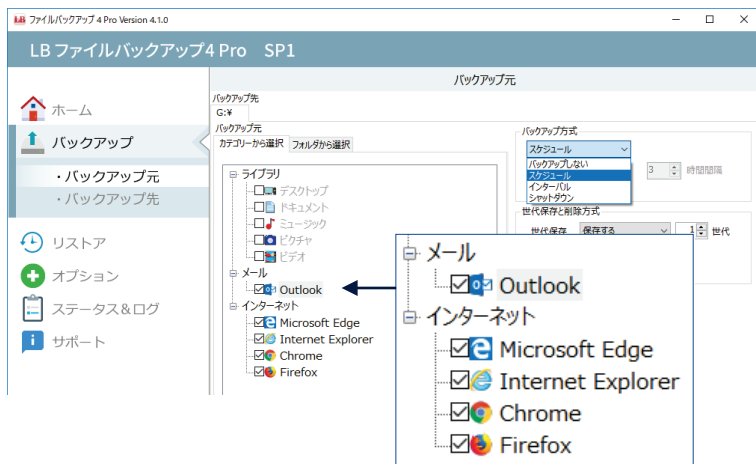
- (4) 確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックするとバックアップ先が削除されます。



以上で操作は完了です。

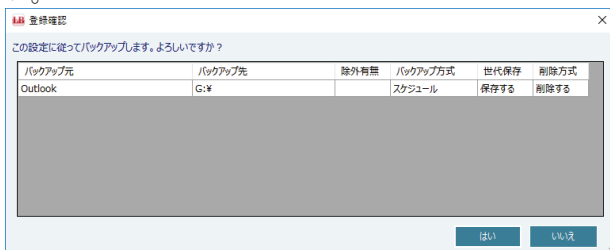
4-4 メールやインターネットのバックアップ

- (1) 設定手順は、『4-1』と同様です。[バックアップ]-[バックアップ元]に表示されるカテゴリーから、バックアップしたいものにチェックを入れてください。

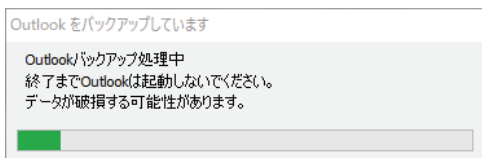
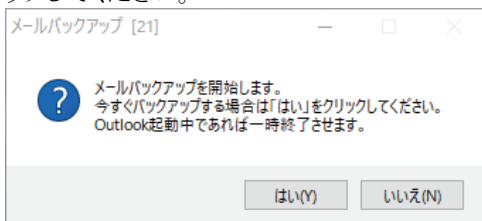


- ※ ご利用のメールソフトがカテゴリーに表示されない場合は、「フォルダから選択」タブをクリックし、メールソフトの保存先フォルダを指定してください。
 - ※ Windows 10 のメールアプリのように PC 内に保存フォルダがなく、メールサーバーに直接アクセスして内容を表示しているソフトはバックアップできません。
 - ※ Thunderbird のバックアップは、メッセージの保存場所を変更していない環境でご利用ください。
- (2) メールとインターネットのバックアップ方式は、スケジュール/インターバル/シャットダウンから選択できます。設定したら **保存** をクリックしてください。

- (3) 確認の画面が表示されます。よろしければ[はい]をクリックしてください。



- (4) 「シャットダウン」以外のバックアップ方式を選択された場合は、バックアップ開始時に以下のようなメッセージが表示されます。[はい]をクリックしてください。



- ※ データが破損する恐れがあるため、バックアップが完了するまで、メールソフトは起動しないでください。

- (5) バックアップ中は、タスクトレイのアイコンが赤くLBになり、完了後はLBに戻ります。上記のメッセージが閉じた後も、バックアップ処理が完了していないことがあるため、必ずタスクトレイのアイコンでバックアップが終わったことを確認してからメールソフトを起動してください。

第5章 バックアップデータのリストアと削除

5-1 バックアップデータのリストア

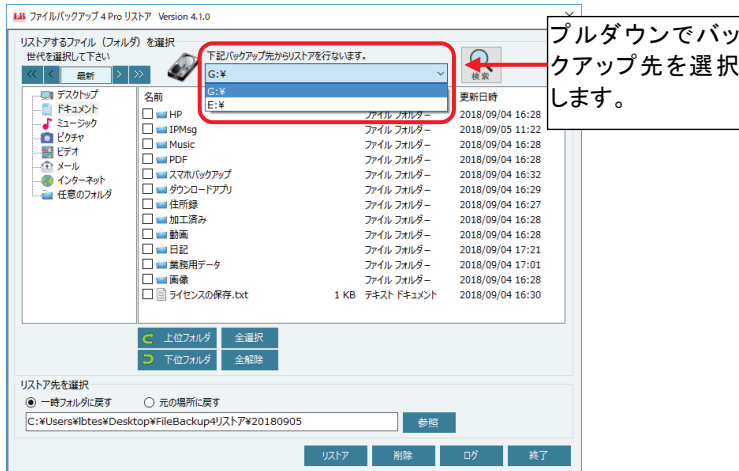
ここでは、LB ファイルバックアップ 4 Pro でバックアップしたデータのリストア手順をご案内いたします。

※ バックアップデータの暗号化・圧縮を行っていない場合、エクスプローラ等で直接バックアップデータを参照できますが、製品のリストア機能を使用してリストアすることをお勧めします。

- (1) ホーム画面で[リストア]をクリックします。

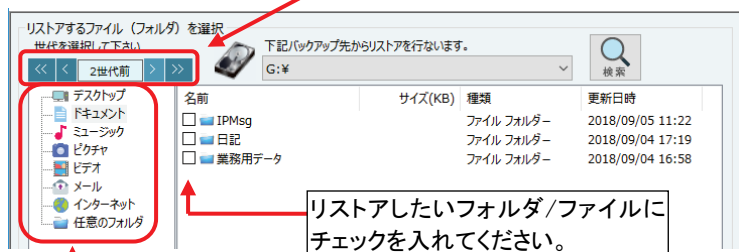


- (2) リストアツールが起動します。バックアップ先(保存先)を複数登録している場合は、まずバックアップ先を選択してください。




- (3) リストアするデータを選択します。リストアしたいフォルダ/ファイルにチェックを入れてください。

古いファイルをリストアする場合は世代を選択してください。

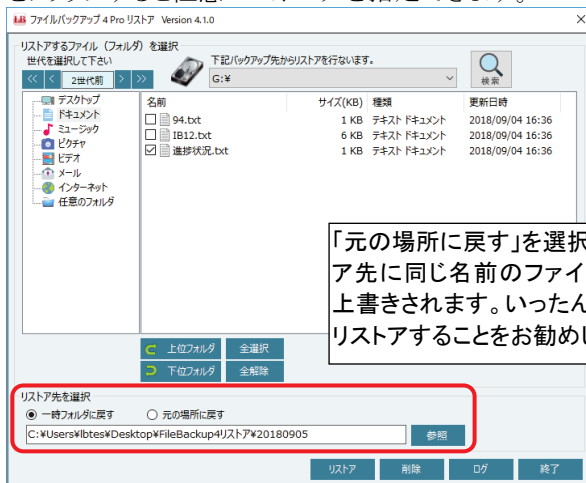


リストアしたいフォルダ/ファイルにチェックを入れてください。

こちらで選択した項目の中身が、右側に表示されます。

- ※  ボタンでファイル名や更新日で検索することができます。

- (4) 続いてリストア先を指定します。一時フォルダに戻す場合は、[参照]をクリックすると任意のフォルダを指定できます。



「元の場所に戻す」を選択した場合、リストア先に同じ名前のファイルが存在すると上書きされます。いったん一時フォルダにリストアすることをお勧めします。

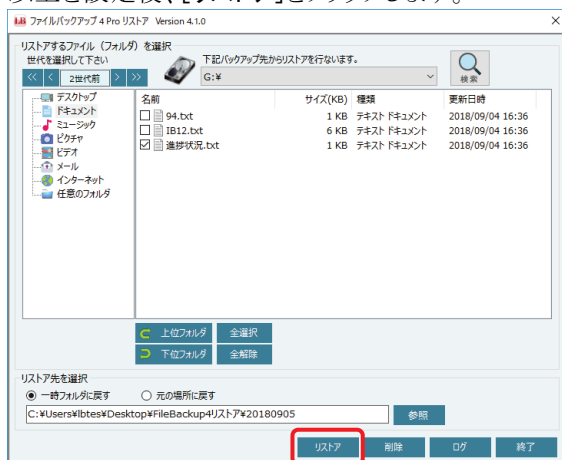
第5章 バックアップデータのリストアと削除

【メールデータのリストアについて】

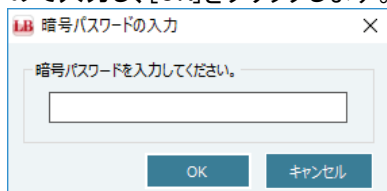
Outlook、Thunderbird 等、メールソフトの復元は、一時フォルダにリストアし、インポートなどの操作を行っていただく手順が確実です。インポート手順の詳細は、メールソフト各メーカーにお問い合わせください。ご参考までに、弊社サイトにも FAQ を掲載しています。

https://lifeboat.jp/support/faq/tbl_fb4.php

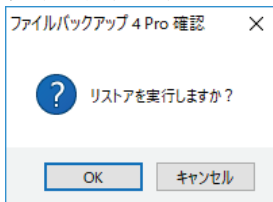
- (5) 以上を設定後、[リストア]をクリックします。



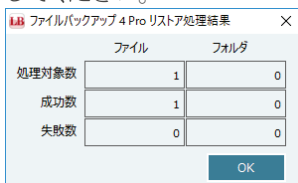
- ※ データを暗号化している場合は、パスワード入力画面が表示されるので入力し、[OK]をクリックします。



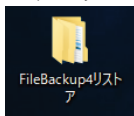
- (6) 以下の画面が表示されたら[OK]をクリックします。



- (7) リストアが完了すると処理結果画面が表示されるので、[OK]をクリックしてください。



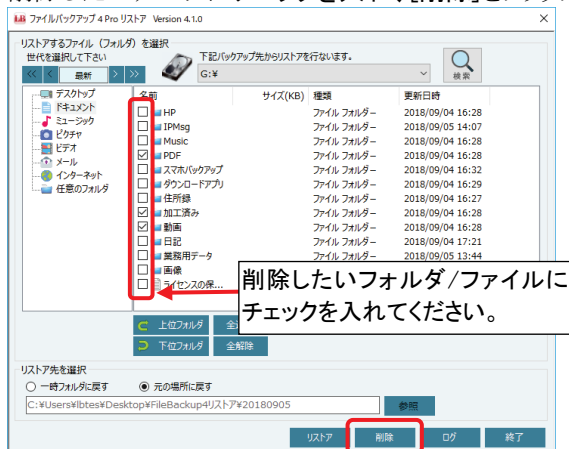
- ※ [一時フォルダに戻す]を選択してリストアした場合、リストア先に「FileBackupリストア」というフォルダが作成され、その中にバックアップデータがリストアされます。



第5章 バックアップデータのリストアと削除

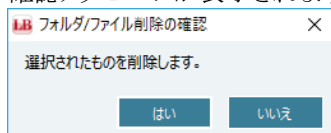
5-2 バックアップデータの削除

- (1) 『5-1』(1)～(2)を実行します。
- (3) 削除したいデータに**チェック**を入れ、**[削除]**をクリックします

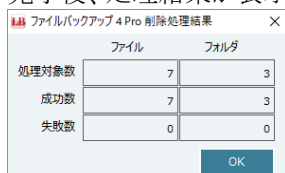


※ 削除したデータはリストアできなくなります。操作には十分ご注意ください。

- (4) 確認メッセージが表示されます。[はい]をクリックします。



- (5) 完了後、処理結果が表示されます。[OK]をクリックしてください。



5-3 別の PC でリストアする

LB ファイルバックアップ 4 Pro では、本製品がインストールされていない環境でもリストアすることができます。

PC が壊れてしまった場合など、バックアップしておいたドライブを他の PC に接続し、リストアすることができます。外付け HDD にバックアップした場合を例に、手順をご案内いたします。

※ LB ファイルバックアップ 4 Pro がインストールされている環境では、『5-1』の手順でリストアを行ってください。

- (1) バックアップ先に使用していた外付ハードディスクを PC に接続し開きます。LB ファイルバックアップ 4 Pro のバックアップデータは「LB」フォルダに保存されています。LB フォルダを開くと、「AirBackRestore」と、ユーザー名のフォルダが作成されています。

名前	更新日時	種類
AirBackRestore	2018/08/31 13:15	ファイル フォルダ
lbtas	2018/08/31 15:11	ファイル フォルダ

※ 保存先階層の詳細は『5-4』をご参照ください。

※ 「AirBackRestore」フォルダでなく、「FileBackupRestore」フォルダがある場合は、『7-1』をご確認ください。

- (2) 「AirBackRestore」フォルダを開き、「AirBackRestore.exe」を実行してください。

名前	更新日時	種類
AccessLog.dll	2018/08/17 16:27	アプリケーション
AirBackCommons.dll	2016/03/11 16:50	アプリケーション
AirBackMailerDll.dll	2018/08/17 16:27	アプリケーション
LB AirBackRestore.exe	2018/08/17 16:27	アプリケーション

第5章 バックアップデータのリストアと削除

(3) リストアツールが起動します。この後のリストア手順は製品のリストア機能と同じです。『5-1』(3)～をご参照ください。

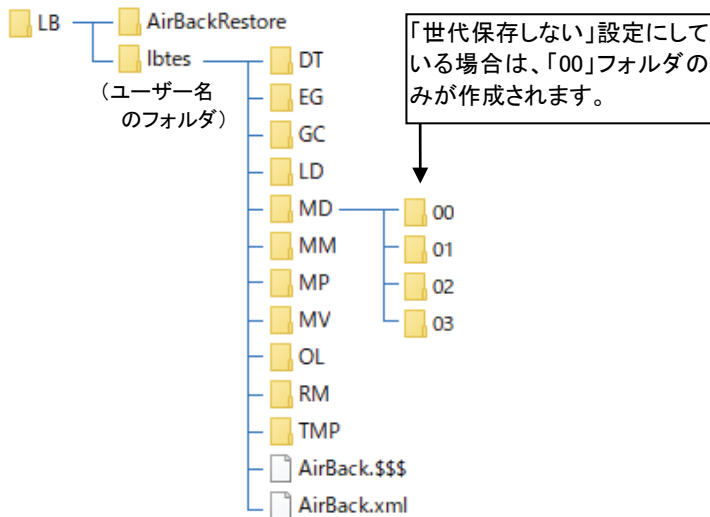


※ バックアップ先がネットワークドライブの場合、ネットワーク経由で「FileBackupRestore.exe」を実行してリストアできなければ、バックアップ先にある LB フォルダを丸ごとローカルにコピーしてリストアを実行してください。

5-4 バックアップ先の構成について

バックアップ先に設定した場所には、「LB」フォルダが作成され、その中に「AirBackupRestore」と、ユーザー名のフォルダが作成されます。

AirBackupRestore フォルダ内には、『5-3』でご案内したリストアツールが保存され、ユーザー名のフォルダ内にはバックアップデータが保存されます。



ユーザー名のフォルダ内には、バックアップ元ごとにフォルダが作成されます。バックアップ元のアルファベット表記がベースになっていますので、エクスプローラなどで参照する際の参考にしてください。上記例の各フォルダには以下のバックアップデータが保存されています。

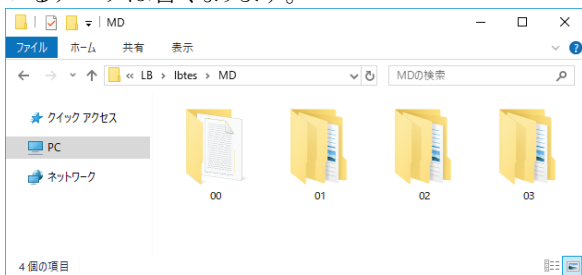
DT	デスクトップ	MD	マイドキュメント
EG	Edge	MM	マイミュージック
GC	Google Chrome	MP	マイピクチャ
IE	Internet Explorer	MV	マイビデオ
LD	任意のフォルダ	OL	Outlook

第5章 バックアップデータのリストアと削除

※ バックアップ先のデータは直接編集や削除を行わないでください。バックアップやリストアが正常に行われなくなる恐れがあります。バックアップデータを削除したい場合は、『5-2』を参照の上、製品の削除機能を使用してください。

バックアップデータを世代保存するように設定している場合、バックアップ元のデータを更新すると、バックアップ先には「00」「01」「02」などの数字のフォルダが作成されます。

「00」フォルダには最新のデータが保存され、「01」にはその一つ前の世代のデータが保存されており、フォルダ名の数字が大きいくほど、格納されているデータは古くなります。



バックアップデータを「世代保存しない」設定にしている場合は、「00」フォルダのみが作成され、そこにバックアップデータが保存されます。

第6章 オプションとログ

オプション画面では、ログの保存に関する設定やバックアップ速度の変更など、バックアップの動作に関わる設定などを変更できます。

6-1 共通設定

ホーム画面から[オプション]-[共通設定]をクリックします。



隠し属性ファイルの除外

チェックを入れると、隠しファイルがバックアップ対象から除外されます。

ファイル名、拡張子による除外

ファイル名や拡張子を指定してバックアップ対象から除外することができます。

<設定例>テキストファイルを除外する場合は、表内に「*.txt」と入力し[適用]ボタンをクリックしてください。

世代ファイルの保存方式の設定

バックアップデータを複数世代保存する設定にした場合の動作を設定できます。

<p>「1日に更新する世代を1世代目のみに制限する」</p>	<p>この設定は、保存する世代数を2以上に設定している場合に有効です。1日に何度かバックアップ元のファイルを更新しても、バックアップデータが更新されるのは、最新のデータと1世代目だけになります。例えば、バックアップ先に3世代分のデータがあった場合、1日に何度バックアップ元のデータを更新しても、バックアップ先は最新のデータと1世代目しか更新されず、2世代目以降のデータは更新されません。</p>
<p>無制限に世代を更新する</p>	<p>ファイルを更新するたびに、バックアップ先のすべての世代が更新されます。</p>

プロキシ設定

プロキシの設定が可能です。

6-2 パフォーマンス設定

ホーム画面から[オプション]-[パフォーマンス設定]をクリックします。この画面では、ログファイルやバックアップ速度、オートコンプリータに関する設定が行えます。



ログファイルの保存設定

バックアップ時のログについて、どのレベルまで記録するか設定できます。

Lv4	バックアップ成功/失敗/スキップしたバックアップ対象のパス、他、詳細情報を記録します。動作が重くなることがあります。
Lv3	初期設定はこちらです。バックアップ成功/失敗/スキップしたバックアップ対象のパスを記録します。
Lv2	バックアップ成功/失敗したバックアップ対象のパスを記録します。
Lv1	バックアップが失敗した対象のパスを記録します。
Lv0	バックアップ対象のパスを記録しません。

ログの保存先

ログファイルの保存先を変更したい場合は[参照]をクリックして指定してください。初期設定では下記に保存されます。

C:\ProgramData\RI\AirBack\log (ユーザー名の一フォルダ)\log

第6章 オプションとログ

ログの保存先には、『6-4』のバックアップリストア/オペレーションのログファイルが保存されます。

＜例＞ バックアップログ: BK で始まるファイル

BK_00002_20180915.log

2018年9月5日のバックアップログの2ページ目

リストアログ: rt で始まるファイル

rt_MD_20180915.log

2018年9月5日に行われたドキュメントフォルダのリストアログ

オペレーションログ: op で始まるファイル

op_20180915.log

2018年9月15日のオペレーションログ

ログの保存期間

1～180日の間で、ログファイルの保存期間を設定できます。

バックアップ速度

バックアップの実行速度を、「高速/中速/低速」のいずれかから選択できます。

オートコンプリータ(AC)

バックアップ方式をリアルタイムに設定している場合の機能で、バックアップの取りこぼしが無いかをチェックします。このオートコンプリータの速度を、「高速/中速/低速/なし」のいずれかから選択できます。なしを選択すると、この機能は無効になります。

オートコンプリータはPCを再起動した場合など、LB ファイルバックアップ 4 Pro が起動してから5分後に動作を開始します。また、PCを再起動しない場合も1日1回、24時間ごとに動作を開始します。USBメモリやネットワークドライブをバックアップ先に行っている場合に、バックアップ先を切断した状態でバックアップ対象のファイルを更新し、再度バックアップ先を接続した際も動作します。

定期世代削除

曜日と時刻を指定すると、指定したタイミングで、最新のデータ以外をすべて削除します

6-3 レポートメール

『6-2』のログの記録とは別に、指定したタイミングでバックアップ状況のレポートメールを送信することができます。レポートの内容は、バックアップ先の空き状況、バックアップ対象、成功/失敗の件数です。

設定するには、ホーム画面から[オプション]-[レポートメール]をクリックしてください。



メール通知設定

レポートを送信する/しないの設定と、送信する場合は時刻を設定します。

メールアドレス設定

送信者と宛先のメールアドレスをそれぞれ入力します。

SMTP 設定

メール送信に必要な情報を入力したあと、[テスト送信]をクリックし送信テストを行ってください。設定に問題がなければボタンがうすい緑色に変わります。

第6章 オプションとログ

6-4 ステータス&ログ

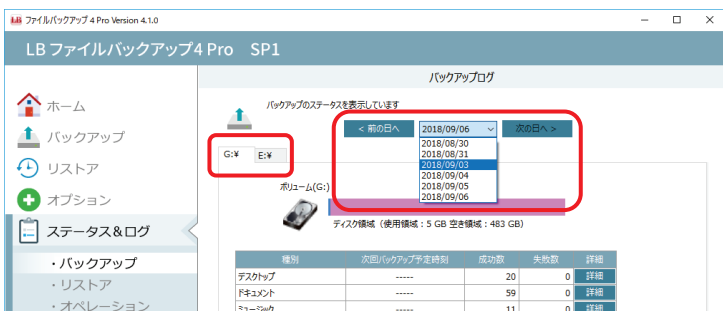
この画面では、バックアップやリストア、オペレーションログを確認できます。ここでは、バックアップログを例に、ログの参照方法をご案内いたします。

※ ログの記録レベルについては、『6-2』を参照してください。

- (1) ホーム画面から、[ステータス&ログ]をクリックすると、バックアップのログ画面が開きます。



- (2) ログを参照したいバックアップ先のタブを選択します。また、いつのログを表示するかを選択してください。



(3) [詳細]をクリックすると、ログの内容が表示されます。

種別	次回バックアップ予定時刻	成功数	失敗数	詳細
デスクトップ	-----	20	0	詳細
ドキュメント	-----	54	0	詳細
ミュージック	-----	11	0	詳細
ピクチャ	-----	113	0	詳細
ビデオ	2018/09/07 14:10	11	0	詳細
D:¥	-----	0	0	詳細

```

2018/09/06 14:09:25 +■ABBackupTask Realtime STARTED. / Version 4.1.0.0 [C:\Users\Vibtes\Pictures]-
2018/09/06 14:09:25 +LOCAL MODE backupSpeed:3 backupSpeedAC:2 AC SLEEP MSEC:10
2018/09/06 14:09:25 +LB ファイルバックアップ4 Pro [backupMain.cpp:25f
2018/09/06 14:09:35 +■RDCW START. Target:C:\Users\Vibtes\Pictures
2018/09/06 14:13:07 ■ABBackupTask AutoCompleter STARTED. / Version 4.1.0.0 [C:\Users\Vibtes\Pictures]-
2018/09/06 14:13:07 LOCAL MODE backupSpeed:3 backupSpeedAC:2 AC SLEEP MSEC:10
2018/09/06 14:13:07 LB ファイルバックアップ4 Pro [backupMain.cpp:25f
2018/09/06 14:13:08 バックアップ先空き容量 477.56 GB [BackupMain.cpp:35f
2018/09/06 14:13:08 オートコンプリータ開始 task[8] [Backup.cpp:1702]
2018/09/06 14:13:08 ファイルスキャン開始 C:\Users\Vibtes\Pictures\20180102_132931.jpg 5
2018/09/06 14:13:08 バックアップ先空き容量 G:¥ ファイルサイズ:5267891バイト / 空き容
2018/09/06 14:13:08 ファイル転送成功 C:\Users\Vibtes\Pictures\20180102_132931.jpg G:¥L B¥lbtz
2018/09/06 14:13:08 ファイルスキャン開始 C:\Users\Vibtes\Pictures\20180102_133524.jpg 2
2018/09/06 14:13:08 バックアップ先空き容量 G:¥ ファイルサイズ:2659710バイト / 空き容
2018/09/06 14:13:08 ファイル転送成功 C:\Users\Vibtes\Pictures\20180102_133524.jpg G:¥L B¥lbtz
2018/09/06 14:13:08 除外対象ファイル C:\Users\Vibtes\Pictures\Camera Roll\desktop.ini G:¥L B¥lbtz
2018/09/06 14:13:08 除外対象ファイル C:\Users\Vibtes\Pictures\desktop.ini MATCHED
2018/09/06 14:13:08 ファイルスキャン開始 C:\Users\Vibtes\Pictures\VRIMG6927.JPG 5
2018/09/06 14:13:08 バックアップ先空き容量 G:¥ ファイルサイズ:564126バイト / 空き容
2018/09/06 14:13:08 ファイル転送成功 C:\Users\Vibtes\Pictures\VRIMG6927.JPG G:¥L B¥lbtz
2018/09/06 14:13:08 ファイルスキャン開始 C:\Users\Vibtes\Pictures\VRIMG6933.JPG 5
2018/09/06 14:13:08 バックアップ先空き容量 G:¥ ファイルサイズ:563053バイト / 空き容
2018/09/06 14:13:08 ファイル転送成功 C:\Users\Vibtes\Pictures\VRIMG6933.JPG G:¥L B¥lbtz
2018/09/06 14:13:08 除外対象ファイル C:\Users\Vibtes\Pictures\Saved Pictures\desktop.ini
2018/09/06 14:13:08 ファイルスキャン開始 C:\Users\Vibtes\Pictures\Screenpresso\2018-08-30_16h27
2018/09/06 14:13:08 バックアップ先空き容量 G:¥ ファイルサイズ:8473バイト / 空き容量:5
  
```

※ リストアログも同じ手順で参照できます。オペレーションログは、日付やバックアップ先を選択する必要はなく、クリックするとログの内容が表示されます。

第6章 オプションとログ

6-5 サポート画面

サポート画面では、LB ファイルバックアップ 4 Pro の製品化、ユーザー登録、マニュアルの参照などが行えます。



ライセンスキー入力

ライセンスキーを入力後、認証をクリックすると製品化されます。試用版を製品化する場合は『7-3』をご参照ください。

お客様情報登録

ユーザー登録ページに移動します

サポートデータ作成

サポートセンターに送るログファイルを zip 形式で、任意の場所に保存します。クリックすると保存画面が表示されるので、保存先を選択してください。保存した zip ファイルをメールに添付して、弊社サポートセンターにご送付ください。

お問い合わせ

サポートセンターへの問合せページに移動します。

マニュアル

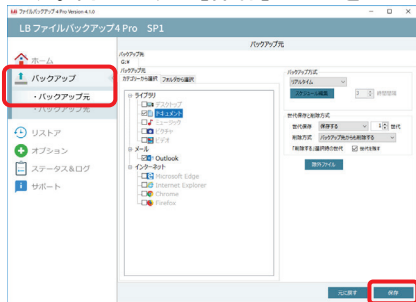
LB ファイルバックアップ 4 Pro のマニュアル(PDF)を表示します。参照には Adobe Reader が必要です。

第7章 その他

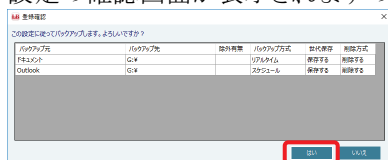
7-1 アップデート(上書きインストール)を行った場合

『LB ファイルバックアップ 4 Pro』(Ver4.0.0)を使用していた環境で、本 SP1 プログラムを上書きインストールした場合は、リストアツールの更新のため、下記の手順を行ってください。

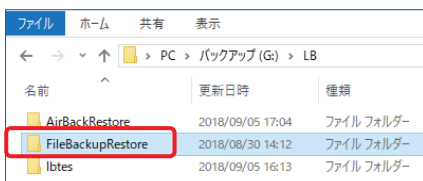
- (1) SP1 をインストール後、[バックアップ]-[バックアップ元]の画面を開きます。設定内容が旧バージョンから引き継がれていることが確認できます。何もせずに[保存]ボタンをクリックしてください。



- (2) 設定の確認画面が表示されますので[はい]をクリックしてください。



- (3) バックアップ保存先ドライブを開き、「LB」フォルダ内の「FileBackup Restore」フォルダを削除してください。



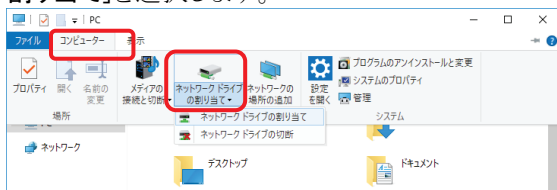
保存先フォルダの構成については『5-4』をご参照ください。

7-2 ネットワークドライブの割り当てについて

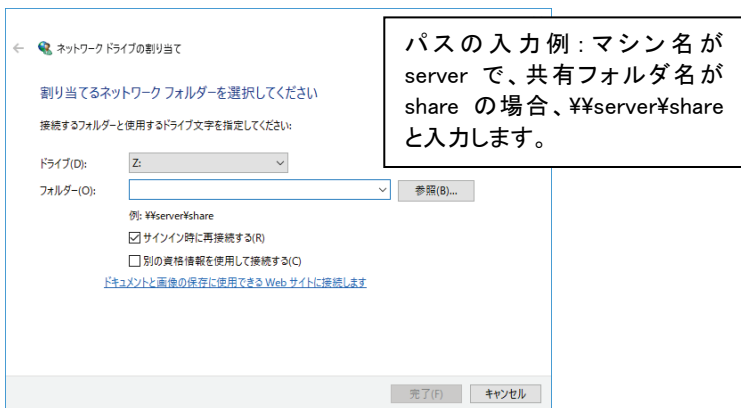
LB ファイルバックアップ 4 Pro はネットワークへのバックアップに対応しています。ネットワークドライブにバックアップするには、あらかじめバックアップ先にドライブ文字を割り当てておく必要があります。ここでは、Windows 10 の画面を例に、設定手順をご案内いたします。

※ ネットワークドライブへバックアップするには、そのドライブへの「書き込み権限」が必要です。

- (1) エクスプローラを開き、[コンピュータ]タブから[ネットワークドライブの割り当て]を選択します。



- (2) 「ネットワークドライブの割り当て」画面が開きます。割り当てるドライブ文字を選択し、「フォルダー」の欄に共有フォルダへのパスを入力するか、[参照]をクリックして該当のフォルダを選択します。入力後は[完了]をクリックしてください。



- (3) 「PC」画面を開き、共有フォルダが表示されていれば設定は完了です。



- (4) これでバックアップ先を選ぶ際、ネットワークドライブが選択できるようになります。バックアップ手順の詳細は『4-1』を参照して下さい。



7-3 試用版から製品化する

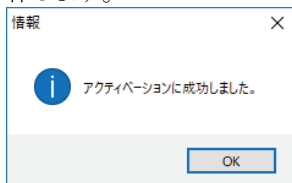
- (1) ライセンスキーを入力せずに本製品をインストールした場合、14 日間使用可能な試用版になります。試用期間が終了すると、起動時に以下の画面が表示されます。



- (2) 製品化する場合は、ライセンスキーをご入手ください。LB ファイルバックアップ 4Pro を起動し、[サポート]画面でライセンスキーを入力し「認証」をクリックします。



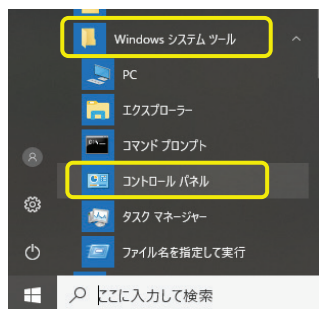
- (3) [OK]をクリックしてください。アクティベーション後は、製品版として動作します。



- ※ 試用期間を過ぎて製品化を行わない場合は、バックアップは実行されなくなります。これまでバックアップしたデータのリストアは行えません。

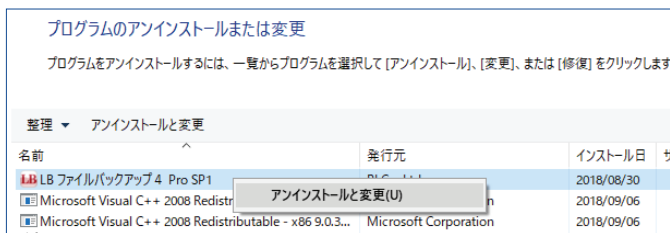
7-4 アンインストール手順

- (1) スタートボタンより「Windows システムツール」-「コントロールパネル」を開きます。



- ※ Windows 8.1 ではスタートボタンを右クリック、Windows7 ではスタートボタンをクリックして「コントロールパネル」を開きます。

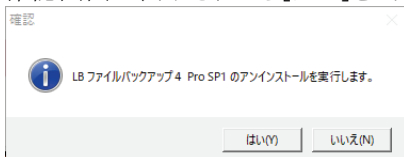
- (2) 「プログラムのアンインストール」画面で、「LB ファイルバックアップ Pro SP1」を右クリック[アンインストールと変更]をクリックします。



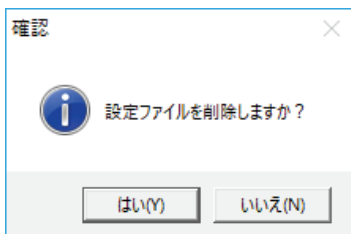
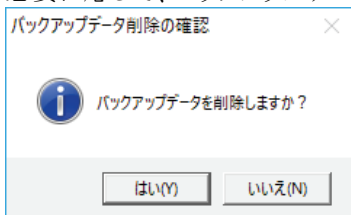
- (3) インストーラ画面が表示されたら[アンインストール]をクリックします。



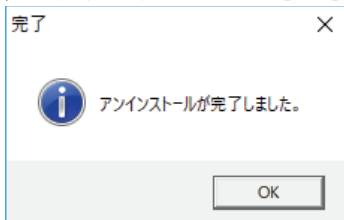
- (4) 確認画面が表示されたら[はい]をクリックします。



- (5) 必要に応じて、バックアップデータや設定を残すこともできます。



- (6) 完了画面が表示されたら[OK]をクリックします。



以上でアンインストールは完了です。

使用許諾契約書

当製品をご使用前に、下記のライセンス契約書を必ずお読みください。本使用許諾契約書(以下「本契約」といいます)は、下記に示されたライフポート ソフトウェア製品(以下「ソフトウェア製品」といいます)に関してお客様(以下「甲」といいます)と株式会社ライフポート(以下「乙」といいます)との間に締結される契約書です。ソフトウェア製品をインストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約の条項に同意し、契約が成立したものとします。本契約の条項に同意されない場合、株式会社ライフポートは、お客様にソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾することができませんので、予めご了承ください。

第1条 定義

- ソフトウェア製品
本契約に基づき、乙が甲に提供するプログラムおよび関連資料を包括して、改良版のソフトウェア製品が提供された場合には、当該改良版のソフトウェア製品をいう。
- プログラム
機械読取可能な形式で提供されるデータ処理プログラムをいう。
- 関連資料
プログラム以外の資料で、乙がプログラムの使用に関連して提供する、乙指定の資料をいう。

第2条 契約の目的

乙は甲に対しソフトウェア製品を非独占的に使用する譲渡不能な権利を許諾する。

第3条 契約期間

本契約は、本契約成立時から、甲または乙が本契約に従い解約するまで存続する。

第4条 使用权

- 甲は、プログラムを1ライセンスにつき1台のコンピュータで使用することができる。また、印刷物の形で提供されたソフトウェア製品を本契約の目的に従って使用することができる。
- 甲は、本契約に基づく使用权につき再使用权を設定し、またはソフトウェア製品もしくはその複製物を第三者に譲渡、転貸もしくは占有の移転をしてはならない。ただし、甲の管理の下で甲のためにソフトウェア製品を第三者に使用させる場合はこの限りでなく、甲の使用とみなすものとする。
- 甲がマルチライセンスパックを購入した場合、本契約以外の書面(パッケージ等)において指定される許諾数だけのコンピュータにインストールできる。

第5条 複製権

甲は、ソフトウェア製品の一部または全部をバックアップコピー作成のためにのみ、複製及び複写することができる。甲は上記の目的以外のために、ソフトウェア製品の一部または全部を、メディアを問わず、転写、複製または複写してはならない。

第6条 危険負担

納入前に生じたソフトウェア製品および記録媒体の喪失または損傷は、甲の責に帰すべきものを除き乙の負担とし、納入以後に生じたこれらの損害は乙の責に帰すべきものを除き甲の負担とする。

第7条 保証

- ソフトウェア製品の媒体及び関連資料に、物理的欠陥がある場合、甲がソフトウェア製品を購入してから90日間に限り、無償で乙より交換を受けられることができる。
- 乙は、ソフトウェア製品が甲の特定の使用目的に適合することを保証するものではない。また、前項において明示する場合を除き、本ソフトウェア及びサポートサービスに関して一切の保証を行わないものとする
- 前各項の定めは、本契約に基づく法律上の瑕疵担保責任を含む、乙の保証責任のすべてを指定したものとする。

第8条 乙の責任および責任の制限

- プログラムの不稼働を含む稼働不良のすべての場合において、乙の責任は誤りの訂正に合理的な努力を尽くすことに限られるものとする。
- 法律上の請求の原因の種類を問わず、乙は、法律上許容される最大限において、本ソフトウェア製品の使用もしくは使用不能、サポートサービスの提供もしくは提供不能またはその他本契約書に関して生じる特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害、またはその他の一切の

損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、人身傷害、プライバシーの喪失、誠実義務または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、過失、またはその他の金銭的損失を含むがこれらに限定されない）に関して、乙の過誤、不法行為（過失を含む）、無過失責任、契約違反または保証違反の場合であっても、一切責任を負わないものとする。たとえ、乙がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様である。

3. 本ソフトウェア又はサポートサービスに起因して、甲、もしくはその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、乙は一切の責任を負わないものとする。本契約のもので、理由の如何を問わず、乙が甲、又はその他の第三者に対して負担する責任の総額は、損害の原因となった本ソフトウェアに対して本契約のもので甲が実際に乙へ支払った対価の100%を上限とする。

第9条 著作権等の侵害に関する損害賠償責任

1. ソフトウェア製品の使用が、第三者の著作権または工業所有権等の知的所有権を侵害したという理由で、甲が第三者より請求を受けた場合には、甲が次の各号所定のすべての要件を満たす場合には、乙の責任と費用負担で、当該請求を処理解決するものとし、甲に一切の損害を及ぼさないものとする。

(1) 甲が第三者から請求を受けた日から速やかに、乙に対し請求の事実および内容を通知すること。

(2) 甲が第三者との交渉または訴訟の遂行に関し、乙に実質的な参加の機会および決定の権限を与え、ならびに必要な援助をすること。

2. 乙は、甲が次の各号の一に該当する場合には、甲に対し前項所定の責任を負わない。

(1) 甲が乙提供以外のプログラムと組み合わせで使用したことに起因するとき。

(2) 甲が本契約に違反してソフトウェア製品を使用したことに起因するとき。

第10条 ソフトウェア製品の変更または改作

甲は、自己の使用のため、「乙の許可なく」ソフトウェア製品を変更、または改作してはならない。

第11条 解約および解除

1. 甲は、乙に30日前の書面による通知をして、乙の了解を得た場合、本契約を解約することができる。

2. 甲または乙は、相手方に次の各号に掲げる事由の一角が生じたときには、なんらの催告なしに直ちに本契約を解除することができる。

(1) 支払いの停止または破産、和議開始、会社更正手続開始、会社整理開始もしくは特別清算開始の申立があったとき。

(2) 手形交換所の停止処分を受けたとき。

3. 甲または乙は、本契約に違反すること等相手方の債務不履行が相当期間を定めてした催告後も是正されないときは、本契約を解除することができる。

4. 前各項の適用によりソフトウェア製品の使用権が消滅した場合には、甲は返還または破棄の手続きを行うものとする。

第12条 ソフトウェア製品の返還または破棄

1. 甲は、使用権の消滅後2週間以内にソフトウェア製品およびすべての複製物（変更または改作されたものを含む）を、乙に返還しまたは破棄するものとする。

2. 甲は、前項による返還または破棄と同時に、前項所定の事実を証明する書類を乙に提出する。

第13条 合意管轄

本契約に関し訴訟の必要が生じた場合には、乙本店所在地を管轄する裁判所を専属管轄裁判所とする。

第14条 協議

本契約に関して疑義が生じた場合には、両当事者は信義誠実の原則に従い協議するものとする。

LB ファイルバックアップ 4 Pro SP1 利用ガイド

2018 年 9 月 10 日

第 1 版 第 1 刷発行

(非売品)

著作 株式会社ライフポート

発行所 株式会社ライフポート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

©2018 株式会社ライフポート

Printed in Japan

落丁、乱丁はお取替えいたします。